

I can't put up with nuclear fuel circle.

だまっちゃおられん！

核燃・だまっちゃおられん津軽の会

会報NO. 14 2010年11月20日発行



gogo

第2回 チャリンコキャラバン発進

10月17日、蓬萊橋広場から市内2コースを核燃反対！チャリンコgogoキャラバン隊が疾走しました。キャラバン隊には、昨年を上回る30名が参加し、晴天の下「再処理工場本格稼働反対！核燃サイクル反対を訴えてデモチャリしました。出発時間になっても宣伝カーが来なかったり、音が出なかったりというアクシデントも、「なんくるないさ〜」（沖縄の言葉。どうにかなるさ〜、気にしないさ〜程度の意味）精神で乗りきり、楽しく街宣を行いました。

「毎年のことでしょうか」と、新しく自転車を購入した方も複数あり、この企画は恒例行事として定着しそうな様相です。

終了後は、バーベキューと、大坪杯争奪核燃大ゲーム大会が行われ、核燃の勉強をしながら楽しい午後を過ごしました。



→ チャリンコに装着する旗を製作するファルマの会員の皆さん

核燃反対！！チャリンコ GOGO キャラバンに参加して

(株)ファルマ 佐藤 真由美

前は悪天候の中の活動でしたが、私たちの日頃の行いが良いせいか、今回は青空の下での活動になり、気持ちよく自転車で弘前市民の皆さんにアピール活動ができて本当によかったです。

使用済み核燃料を単に廃棄処分するよりも再処理すればまた多くのエネルギーを産出できるから核燃料リサイクルは今流行の「エコ」のようなイメージでいいと思う人たちが大半かと思いますが、実際施設を誘致する地域に住んでいない人たちには他人事と、自分たちには関係ないと思っているでしょう。もし事故が起きたらというリスクのほうから考えてみれば、そこに住んでいる人々はもちろん、遠く離れている人たちにも被ばくの影響がある、自分に関係ないなんて言っていられないなあと街頭演説でのスピーチに耳を傾けてくれた人がいたら、このアピール行動をこれからもしていくことは大切だと思います。そして・・・、一生懸命頑張った後のバーベキューは、一段とおいしかったです。核燃ゲームも本当によくできていて、核燃にあまり詳しくない私にもわかりやすい一言が書いてあり楽しめました。

チャリンコキャラバンに参加して (株)ファルマ 太田 匡泰

10月17日に弘前にてチャリンコキャラバンが行われました。当日は天気予報で雨の可能性があり心配していましたが、午前中は晴れ間があり自転車を運転するにはとてもいい日和になり一安心でした。今回私が参加したチームは蓬莱橋よりロックタウン樋ノ口まで行き、そこから西バイパスを通り、堅田のユニバースに行き健生病院に向かうコースでした。自転車には核燃反対の旗をつけて弘前の街を駆け抜けました。また途中ロックタウンとユニバースの2か所でマイクアピールを行い、私も核燃について思うことをアピールしました。

チャリンコキャラバン終了後は弘前調剤センターにてバーベキューをしました。自転車で運動した後だったということと外で食べる食事だったのでとてもおいしく、自転車での疲れも吹き飛びました。午後になり雨が降ってきて、バーベキューは少し早めに終わりましたが、みんなで楽しめてとてもよかったですと思います。バーベキューの後は調剤センター会議室にて大坪先生が考案したゲームにて大会が行われました。ゲームの内容は核燃ゲーム、お題から言葉を連想するゲーム、写真から状況を創造するかるたなどが行われました。みんなで楽しみながらいろんなゲームができ楽しい時間でした。

今回参加して核燃の問題について改めて考える機会になりました。この機会を生かして、核燃の問題の本質に少しでも迫れる社会人にこれからなりたいと思いました。



← 大坪杯核燃大ゲーム大会のひとコマ 木村運営委員のはじける笑顔。

→ 優勝して「おおつぼ」を授与された高松運営委員。ペナントに初代チャンピオンとして名前が記載されました。



原発問題住民運動全国交流集会報告

2010/10/20 竹浪 純

原発問題住民運動全国連絡センターが主催した、「浜岡原発の即時運転停止を求める」全国交流集会に参加してきましたので、内容を報告します。

交流集会は、9月25日（土）から26日（日）にかけて、静岡県で開催されました。25日は、40名ほどがJR掛川駅からバスで御前崎市の浜岡原発を見学し、夜、掛川市にあるヤマハリゾート「つま恋」でレセプション。

懇親を深めました。26日は「つま恋」のコンベンションホールを会場に交流集会が行なわれ、220名が参加しました。今回の企画に青森県からは、立地反対連絡会議から西脇さん、

小山内さん、河内さんの3名が、下北の原発・核燃を考える会から横垣さんが、そして当会から竹浪の計5名が参加しました。



25日の浜岡原発見学は、いやはや、巨大なPR館に入り、そこから身分証明を確認されながら原発施設内をバスで視察。説明を受けました。PR館の特徴は、原寸大の原子炉の模型が展示されていることで、全国ここだけだそうです。現地実行委員会事務局の杉山さん、御前崎市議の清水さんが、バスで説明をしてくださいました。

(杉山氏)

1. 浜岡原発は3～5号機が現在稼働している。1, 2号機は廃炉となり、6号機が建設中である。
2. 使用済み核燃料中間貯蔵施設も建設中だとこと。
3. 東海地震の震源域の真上にあり、世界一危険な原発である。駿河湾地震の際はM6.5程度で5号機がダメージを受けた。
4. 原発が岩盤の上に建っていなかったということが判明、そのために地震波が増幅し被害が拡大した。今後の被害が心配である。
5. 住民運動は、1967年1号機建設計画が発表されると同時に「建設反対共闘会議」が結成されたが、停められずに現在に至っている。
6. 中部電力は5号機をプルサーマル燃料での稼働を目指し、昨年11月燃料を陸揚げした。
7. 我々は3, 4, 5号機即時停止を求めている。東海地震に耐えられない原発は止めろと主張している。組織横断的に協力し合っている。
8. 地方財政は、特に御前崎市は原発依存体質。人口36000人。歳入に占める割合が大きい。固定資産税が桁違いに大きい。原発関連サービス事業も多い。状況を突破して運動を広めたい。

(清水氏)

9. 浜岡周辺には4つの市がある。4市対策協議会が中心になり、制度、交付金などを決めてすすめている。御前崎市だけが腑抜け。何にもいえない。タウンミーティングでも市では原発問題がほとんど出ない。自身は怖い・・・原発から住民を守る会でやっているが・・・
10. 菊川市は反対派議員が7人いる。掛川市は3～4人。
11. 御前崎市では、5号機の電源交付金が25億円。1, 2号廃炉に伴う強制交付金が25億円。プルサーマルで60億円。これに飛びついた。議会は1対15で決まった。
12. 2009年の駿河湾地震で5号機がダメージを受けた。地下300～500mに泥層があった。建設前の調査はなんだったのか。住民は怒っている。
13. 5号機の運転を許さない運動をしており、保安院も運転許可を出せないでいる。市長も保安院の意見を考慮して臨むと表明。
14. 交付金で出来た施設：総合病院、プール40億、図書館、その他
15. 風力発電もやっており、4基建設している。

(中部電力広報の説明)

16. 1, 2号機廃炉の理由→経済的な理由。古さは関係ない。1000ガルに耐えるための改修には経費がかかりすぎるため。
17. 5号機は第4回定期検査で止まったままである。
18. 浜岡は遠浅で港がない。燃料は御前崎港から陸送している。冷却水は直接海水が取れないため、沖合い600mまで海底トンネルを掘り取水口を設けている。
19. 風車は8基建設予定している。1基2000kw。



20. 中間貯蔵施設には使用済み燃料集合体4000体を保管予定。
21. 廃炉は30年計画である。
22. 放射能測定は施設の周辺で常時測定している。
23. 原発では3000名が働いている。うち2000名が協会社従業員である。
24. 東海地震ではつなみ6mを予想しており、砂丘を越えてくることはない。

浜岡原発見学後、土産店により、その後、掛川市にあるヤマハリゾート「つま恋」に向かいました。ここはヤマハが総力を挙げて（多分）バックアップをしている、広さ56万坪（東京ドーム36個分だそうです）の総合リゾート施設でした。



私たちは6時前に到着、7時からレセプションに参加しました。参加者は50名ちょっと。現地実行委員会の挨拶の後、各県からの自己紹介を行いました。私のテーブルには宮城女川原発のプルサーマル導入に反対して運動を進めている、女川町議（共産）高野さん夫妻と、北海道の泊原発の問題に取り組んでいる菅野さん、後は青森の5名という顔ぶれで、話が弾みました。女川町で町民アンケートに取り組んだそうです。3500の全世帯を対象に行い、結果は圧倒的にプルサーマル導入に不同意だったそうです。893通の回答が寄せられ、賛成165、19%、反対514、58%、わからない214、23%でした。住民投票が必要は513で58%だったそうです。マスコミも取り上げ、東北放送はナレーションで「原発は事故を起こしてからでは取り返しが付かない。」プルサーマルでは「放射性物質の処分も決まっていないのに、賛成はどこからも出てこない」という町民の声を紹介したそうです。我々にも同じように出来る運動はないかと考えさせられました。

翌26日は、コンベンションホールで交流集会が開かれました。私は、会場内の横にテーブル半分のスペースを確保し、核燃ブックレットNo.1, 2、核燃紙芝居、核燃カードゲームを展示しました。しかし集会での発言準備に忙しく、販促活動をやれませんでした。それでも紙芝居2セット、ブックレット16冊を頒布できました。交流集会の午前中は、吉井秀勝衆議院議員（共産）他からの来賓挨拶の後、立石先生の記念講演「浜岡原発の耐震対策は大丈夫か？」と、全国連絡センター筆頭代表の伊東達也氏による問題提起「東海地震の震源域の直上にある浜岡原発は即時運転停止せよ」でした。吉井氏の挨拶の概要は・・・自公政権から民主政権に代わり、原発推進政策が積極的になった。海外への原発売込みに積極的だ。しかし、国内の原発事故で1000名の死亡予想が立てられている現在、海外への売り込み先でのアセスメントをきちんとやっているのか？と質問したら、直嶋経産相は、相手がやることだと言った。無責任の極みである。柏崎刈羽原発が止まったらCO2が2.5%増加した。原発は決してCO2削減策にはならないことの証明だ。円高不況だからこそ、環境-再生可能エネルギーを爆発的に増やしていく必要がある。高知県では町でエネルギー率30%のところもある。地域経済再生と同結び付けていくかが大事。

立石講演の結論は、①駿河湾地震は浜岡原発の耐震設計に強い警告を発しているとするべきだ。②なぜ浜岡原発の5号機だけが大きく揺れたのかと言う課題は、すべての原発の耐震安全性に関わる科学技術的課題だ。未解明のまま稼働させる安全保安院の姿勢は極めて問題だ。③調査、解析方針ならびに得られたデータを全て公表し、広範な科学的技術的議論を行うべきだ。と言うものですが、先生がパワーポイントデータを私に下さったので、内容を深く見たい方に差し上げます。

午後からは、各地からの報告を行いました。一人7分の制限時間で、10数人が発表しました。再処理工場関連はまとめて一番最後の報告となり、青森の河内さんが核燃をめぐる情勢を、最後に私が津軽の会の活動について報告しました。

最後に、伊東代表委員が討論のまとめを行い、若者への運動の継承という点で当会の運動に触れました。以上、全国交流集会の様子を報告します。集会参加のためにカンパを下された皆さんに感謝します。

関連施設 最新情報

再処理工場

・六ヶ所再処理工場のアクティヴ試験の改善策として挙げたガラス溶融炉内の温度管理について、来月中旬に温度計を B 系型溶融炉に据え付ける方針を示した。川井社長は、機器点検等の作業が順調に進んでいることから、A 系統溶融炉内の残留物除去など一部の工程については、当初の予定から前倒しで行なう可能性にも言及した。(2010.10.22 東奥日報)

海外再処理廃棄物受入れ

・日本原燃は、10月20日、フランスから返還される低レベル放射性廃棄物を、六ヶ所で稼働中の高レベル廃棄物貯蔵管理センターに一時貯蔵するための事業変更を国に申請した。返還廃棄物は、従来の高レベル廃棄物に比べ、放射性物質の種類などが異なるため、受け入れ検査設備やソフトウェア関連、排気モニターなど、新しい放射性物質に対応した機能を同センターに追加する。イギリスからの低レベル廃棄物については、同等の放射線影響量の高レベル廃棄物（ガラス固化体）に置き換える「単一変換」で同センターに貯蔵される予定。(2010.10.21 東奥日報)

ウラン濃縮工場

・六ヶ所ウラン濃縮工場で使用されているウラン貯蔵容器について、検査を担当する原子力安全基盤機構が、検査の一部を行わずに合格とした容器が計6基あることがわかった。保安院と原子力安全基盤機構によると、容器の溶接・施工を担当した日立造船舞鶴工場で、溶接検査を行なおうとしたところ、同工場が本来やるべき非破壊試験を実施していないことが判明し、検査を中止した。(2010.11.9 東奥日報)

原発

- ・11月2日、福島第一原発で、原子炉の出力を一定に維持するため制御棒の位置を変更していたところ、原子炉が自動停止した。原子炉の水位が高いという警報が出て、この警報が出ると発電タービンが自動停止し、更に原子炉が自動停止するしくみになっている。(2010.11.3)
- ・高速増殖炉型原型炉もんじゅの原子炉内に8月に落下した「炉内中継装置」内部が変形していることがわかり、これまで試みた吊り上げによる回収は不可能になった。今後の回収では、原子炉容器の上蓋の一部撤去など、大がかりな作業が必要になり、来年7月に見込まれた40%の出力試験は大巾に遅れる可能性が高まった。落下したのは、炉内に運ばれた燃料を燃料交換装置に移し変える重さ3.3トンの装置。高さ2メートルまで吊り上げたところで落ち、過去2回の回収作業は、いずれも警報が作動して中断した。(2010.11.10 東奥日報)
- ・ベトナムが進めている原子力発電所2基の建設を日本が受注することで合意した。両国の首相は、共同声明を発表し、ベトナムが建設を予定する原発4基のうち、日本が官民一体で受注をめざしている2基について、「協力パートナーに日本を選ぶ」と明記。基本的に日本企業が選ばれる、とした。(2010.11.1 東奥日報)
- ・福島第一原発3号機は、10月26日、プルサーマルによる営業運転を開始した。(2010.27 東奥日報)

電源交付金

・政府の行政刷新会議が、10月27日から特別会計を対象に実施する事業仕分け第3弾の対象に、原子力関連施設などの立地自治体に交付される電源立地交付金などが含まれた。しかし、翌22日、行政刷新会議のホームページに、事業仕分けの対象が、原子力機構の原子力発電共用施設分に限定されると追加され、サイクル施設は対象外となることがわかった。(2010.10.22 東奥日報)

MOX 燃料加工工場

・MOX 燃料加工工場について、原子力安全保安院は、建物と一部設備に関する設計と工事計画を認可した。工事は、10月28日に着工した。完成は、2016年3月の予定。商業用としては、国内初の施設。最大加工能力は、年間130トン、沸騰水型軽水炉の燃料集合体約1千体分の製造が可能。建設費は、約1900億円。付近の横浜断層が活断層と認定されたことなどから、新耐震指針等に基づく国の安全審査が長引き、これまで着工を4回、完工を3回延期していた。(2010. 10. 20 東奥日報)

核燃反対！ 菊まつり街宣実施

11月5日、イトーヨーカドー前にて菊まつり街宣を実施しました。参加者は、阿部、竹浪、仁平、三浦、小西、藤原の6名でした。街宣の途中で、中学生が飛び入りし、「核燃反対なんでしょ？」と確かめた上、「核燃はんた〜い！！」と、たったひとこと、大声で叫ぶという驚き的一幕もありました。

寒い1時間でしたが、用意したチラシ150枚は配布しきりました。

だまっちゃおられん活動報告

8月12日(木) 第4回運営委員会
8月24日(火) 弘大ランチ定例会議 7名
(宮永、大坪、三浦)
9月1日(水) 法政大学船橋研究室学生訪問インタビュー(宮永、大坪、三浦)

茅野さん、星さんを中心に5名による取材を受ける。宮永・大坪両代表が、だまっちゃおられん津軽の会の活動を紹介。主な質問として、①どうして津軽の地で反核燃運動をやろうと思ったのか、また、市民運動団体が組織できたのか?②どんな活動に重きをおいてやってきたのか?県への申し入れなどは?③今後にどういう展望を持っているか?etc 後日、礼状が届き、当会が風船とばしや核燃ゲームの作成など地域の方に興味をもってもらうという取り組みを行っていることが深く印象に残っていることが述べられていた。

- 9月5日(日) 立石教授より、六ヶ所地質調査報告と、12月来弘可能性のメールあり
9月11日(土) 「原子力政策大綱の見直しの必要性についてご意見を聴く会 in 青森」(安藤、竹浪)
9月13日(月) チャリンコキャラバンポスター完成 (木村、高松)
9月14日(火) 立地反対連絡会議河内氏より、県への申し入れでの共同行動の要請が届く
9月15日(水) 第5回運営委員会
9月22日(金) 核燃・ブックレットNo.2(鈴木・仁平講演集)完成
9月25~26日 「浜岡原発の即時運転停止を求める」全国交流集会 於、静岡 (竹浪)
一日目浜岡原発の視察とレセプションでの交流、二日目立石先生の東海地震の危険性に関する講演と伊東代表理事による問題提起、各地域からの報告。竹浪は、当会の資料配付、運動報告をしパンフ・紙芝居を販売した。
9月28日(火) 安藤代表県議会質問傍聴行動 10名(坂本、中澤、小西、三浦、竹浪)
9月30日(木) 美浜・大飯、高浜原発に反対する大坂の会の経産大臣への要望・質問書についての賛同団体の件を、事務局がメール持ち回りで提起。結果4名から賛同意見が出されたが、少数のため見送った。
10月7日(木) 弘大で講座「環境と共生」がスタート (毎週木曜) 受講生40名
担当教員:安藤房治(教育学部)、大坪正一(教育学部)、倉坪茂彦(理工学部)、鈴木裕史(理工学部)、福田進治(人文学部)、宮永崇史(理工学部) 泉谷眞実(農学生命科学部)
10月12日(火) 五所川原の山本若子先生(保険医協合理事)より「広瀬隆講演会」への協賛要請あり。持ち回りで意見集約をした結果、第6回運営委員会の議題とすることにした。
10月17日(日) 核燃・チャリンコ・ゴーゴーキャラバン 33名(阿部、大坪、安藤、安藤、藤原、木村、高松、坂本、中澤、奥瀬、竹浪)
10月18日(月) 竹本医師より電話が入り、11月27日(土)の講演会は今回は見合わせたいとのこと。了承した。
10月20日(水) 第6回運営委員会

<ブログ発行状況>

- 8/17 海外返還廃棄物は拒否すべき 県の公聴会で主張(三浦)
8/18 海外返還廃棄物六ヶ所村が受け入れ表明(三浦)
8/20 海外返還廃棄物 三村知事受け入れ表明(三浦)
9/23 核燃カードゲーム 原子力半島編・電力会社編できました!(三浦)
10/1 県議会傍聴感想文(三浦)
10/3 チャリンコキャラバン今年も実施(三浦)
10/5 核燃ブックレット2 完成!!(三浦)
10/19 チャリンコキャラバン&BBQ&カードゲーム大会実施(三浦)

ブログアドレス: <http://blogs.yahoo.co.jp/damattya/>

だまっちゃおられん掲示板

第11回 市民講座

とき: 12月6日(月) 18:00~20:00 ところ: 弘前市民参画センター3階

講師: 新潟大学理学部 地質科学科・地球物質科学科教授 立石雅昭さん

演題: 「六ヶ所断層と『ここほれワンワンプロジェクト』の意義」

発行: 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

連絡先: 080-5229-6076 (竹浪) takenami@coral.ocn.ne.jp